

# かなざわ ボランティアセンター通信

高齢者宅の草取りや病院内の付き添い、お弁当の配達やゴミ出しの手伝いなど、地域の中で困っている人を支える多くのボランティアが日々活動しています。今回はそのひとつをご紹介します。

**正**午過ぎ、ボランティアの羽澤さんはA子さんの家に向かいます。80代のA子さんは自宅から30分程かかる生け花教室へ月2回通っています。最近その道のりを1人で歩くことが不安になってきました。そこでボランティアが付き添い、教室まで送ります。



教室へ付き添う様子

**A**子さんの家に向かう羽澤さんの颯爽とした足取りは、「山ガール」だったことを彷彿とさせます。一方A子さんと一緒に歩くときは歩調を合わせ、寄り添います。

**歩**き初めにA子さんが「足がもつれちゃうよ」と話すと「大丈夫よ。ゆっくり歩いてね」と羽澤さんの優しい声がA子さんを包みます。歩きながら「これは何の花かしらね」と2人の楽しそうな会話は、教室に着くまで続きます。

**羽**澤さんはA子さんに、問いかけや否定するようなことは言わないように心がけています。子育て支援のボランティアを中心に17年活動してきた中で多くの事を学び、障がい



A子さんが生けた花

児や高齢者についての講座があると聞けば積極的に足を運び、知識を深めています。「私、歳を重ねたらA子さんのようにになりたいのよ。嬉しそうに沢山おしゃべりするから」と羽澤さん。

**い**くつになっても楽しいことや、やりたいことが続けられるのは活力となります。生活の質を維持し、心豊かに過ごすためにも支える人の存在はかけがえのないものです。

問合せ：金沢区ボランティアセンター TEL：784-2222 FAX：784-9011

善意銀行寄託者 平成29年7月12日～平成29年10月11日  
世界平和統一家庭連合金澤家庭教会、イトーヨーカドー労働組合能見台支部、日本発条労働組合横浜支部、泥亀町内会、金沢区教会、他匿名5件 計176,746円 物品寄附1件(点字用紙、点字板、他)  
※区内の福祉団体へ配分します。ご協力ありがとうございました。

# 106号 福祉 かなざわ 区民参加の社協広報紙

平成29年12月1日発行

「福祉かなざわ」編集委員会  
社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀1-21-5

Tel:788-6080 Fax:784-9011

HP: http://www.kanazawa-shakyo.jp/

Mail: info@kanazawa-shakyo.jp



※「福祉かなざわ」のバックナンバーをご希望の方は、金沢区社協までお問い合わせください。

## 特集

# ささえあって 住み良い 金沢へ



たすけあい夏山の「いこいのサロン」(節分)



「わか」の会場となっている龍華寺地藏堂の前で [写真協力：タウンニュース]

誰もが  
住み慣れたまちで  
暮らしていけるように、地域  
の中で住民同士のささえあい・  
たすけあいが早くから行われてい  
る金沢区。高齢者をはじめ、子ども  
や子育て中の家族、障がいの  
ある人たちを見守るなど、  
様々な取り組みがあり  
ます。



こどもの日の催しでにぎわう「ジュビのえんがわ」



高校生も参加した金沢シーサイドタウン地区社協主催の『ボランティア講座入門編』(2月25日)

## たすけあい 夏山

夏山（釜利谷）

夏山地域は昭和40年代に入居が始まった1200世帯の住宅地。やがて来る住民の高齢化に目を向け、夏山町内会がチラシで高齢化対策の基盤づくりを呼びかけたのは20年ほど前のことでした。趣旨に賛同した約60人が母体となり、誕生したのが住民主体のボランティア団体「たすけあい夏山」です。ちょっとした手助け活動「いっときヘルパー」に依頼する住民が増え、50代中心の青年部が独居世帯のゴミ出しも手伝う※ようになりました。隣同士、あるいは顔の見える



かもめ体操の様子（8月7日）

### ＊高齢化に目を向けた住民主体のボランティア団体

者同士が互いに自分にできることで役に立ちたいという思いがより強くなっています。※依頼者の自宅からゴミ集積所まで運ぶ

**ポイント  
はココ!**

「困った時のたすけあい」は、剪定や草刈り、電球交換やちょっとした室内修理などを有償で行う（申込制）

「いこいのサロン」（第1木曜）は、町内だれでも参加できるつどいの場。昼食会や会話を楽しむ。お誕生会や体操も

「かもめ体操～転倒骨折予防体操脳トレ～」（第1・3月曜）は、保健活動推進員を中心に、認知症予防、健康体操などを実施



いこいのサロン  
（ひなまつり）

## つながりの輪 この指と一まれ! 「わっか」

龍華寺（洲崎町）

毎月最終火曜日、龍華寺地藏堂で行われる地域の人たちの居場所「わっか」に参加する高齢者が集まってきました。8月の開催日には、常連の男性や誘い合ってきた女性たちが来ていました。ここでは地域ケアプラザ



コーヒーを淹れる様子  
（コーヒー de えがお）

有志が話し合いを重ねて「誰もが使えるゆるい居場所」を探した結果、地域開放に積極的な龍華寺の全面協力を実現 利用時間：13時～16時 コーヒー100円/杯

準備委員会がクイズや認知症・脳梗塞予防の内容を考え、「まちの先生」登録者の協力でものづくり体験教室、紙芝居なども行なう

**ポイント  
はココ!**



「わっか」入口



「わっか」の様子（8月29日）

# 暮らしてよかった…ささえあいの地域づくり

介護予防や世代交流、地域の人たちの居場所、地域で活躍するボランティア育成の取組み



## 富岡サロン 「ジュピのえんがわ」

富岡東3丁目

### ＊子ども同士、大人同士がつながるきっかけに

様々な世代が交流する場所にしようと、駄菓子屋を営んできた高橋秀子さんが仲間とともに古い民家を借り受け、2年前に開いた「ジュピのえんがわ」。お茶を飲みに来た高齢者と、和室で子どもとお昼を食べていた親子が打ち解ける光景が見られるようになりました。就学前や小学生の子どもがいる親からは、大人の目が届く遊び場のような存在で安心できる、という声をもらっています。

学校から帰り、えんがわに来るのが習慣になった子どももいるそうで「大人と子どもの居場所を通じて運営スタッフも楽しむ“気軽な縁側”にしたい」という高橋さんたちの思いが実りつつあります。



えんがわ de ワークショップ  
（クラフトバンド）

**ポイント  
はココ!**

「金沢区空き家を活用した地域の『茶の間』支援事業」の補助金を受けて開設 11時～16時（日祝開館・土曜定休、年末年始・夏季休み） 利用料300円（施設運営費：コーヒーまたは紅茶付き、高校生以下無料）

月曜日はパン、木曜日は野菜を販売（11時～売切れまで、自宅届け可）

趣向を凝らしたワークショップ、夏休みの子どもの自習室なども開催

子どもと大人が顔見知りになることで、地域での信頼感がうまれる



「ジュピのえんがわ」スタッフ  
（左：吉川さん、右：高橋さん）

## 金沢 シーサイドタウン地区 社会福祉協議会

金沢シーサイドタウン

### ＊講座を開いて地域ボランティアを増やす

地域のささえあい・たすけあいの担い手を増やすために、金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会ではボランティア育成に力を入れています。平成29年2月、並木、富岡東地域ケアプラザと区社協の協力を得て『ボランティア講座入門編』を実施。受講者の中から「楽しいスポーツをしよう!」（地区社協主催・障がい児者余暇支援）にボランティアとして参加する人も現れ、講座の成果が出てきています。一人ひとりの得意なことや経験をいかして、人も地域も元

気になりたいという機運は高まり、助けあいグループを立ち上げて地域の困り事を自分たちで解決したい、という構想の実現に少しずつ進み始めています。



ボランティア講座入門編の様子

**ポイント  
はココ!**

「ボランティアの担い手を増やす」という目標を、第3期金沢区福祉保健計画で掲げる

「生涯住み続けたいと思う街」をめざして、地区ごとに様々な取組みを行っている

「無理なくお役に立てる」ボランティアを増やして、地域貢献の輪を広げる



シーサイドタウン地区社協事務局長と講師

地域の中の様々なささえあい・たすけあい活動が続いていくには、ボランティアの力が欠かせません。「私にもできることがあるかも?」と思ったら、地域の活動にボランティアとして加わってみませんか。今までにない発見があるかもしれません。 問合せ：金沢区ボランティアセンター TEL：784-2222 FAX：784-9011

### 生活支援体制整備事業（28年度～）

高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で暮らし続けられるように、介護予防、交流の場と機会を増やす。また、ちょっとした困りごととは地域住民同士のささえあいや企業、NPOなどの力で解決できる仕組み・サービスづくりをめざす。

### 生活支援コーディネーター

生活支援体制整備事業を進めていく役割を担い、区社協と地域ケアプラザに1人ずつ配置されている。介護予防、生活支援の充実した地域づくりに向けて、地域の人たちが中心となって取り組む課題解決の後押しやその活動に働きかけたりする。今回紹介した事例でも生活支援コーディネーターが活躍している。